

高い戦略性、秀逸なコース設計、良質なコースコンディション
雄大な自然を巧みに生かした本格派のチャンピオンコース



庄原カントリークラブ SHOBARA COUNTRY CLUB



なだらかな丘陵に広がるクオリティー抜群の18ホール。
数々の名コースを手がけた名匠、鈴木正一氏の「正統派の設計理論」で
デザインされた庄原CCは、誰もがゴルフの醍醐味、プレミアムなひと時を堪能できます。

【データ】

18ホール 7,020ヤード パー72 練習場完備
設計・施工 鈴木正一 安達建設(株)
電磁誘導リモコンカート／GPSナビ搭載

【アクセス】

中国自動車道 庄原ICより5分(西風新都ICより約60分)
中国やまなみ街道 吉舎IC、三次東ICより15分(福山西IC、尾道ICより約60分)
広島空港より約65分、出雲空港より約80分



「訪れる全ての方に、ゴルフの醍醐味とプレミアムなひと時をご提供」
庄原カントリークラブは、世界の名コースを良く知るプロゴルファー
丸山茂樹氏が監修する書籍「プレミアムゴルフ倶楽部ベスト72」に
選出され、ゴルフ旅行にお薦めの上質なゴルフ場として紹介されました。



shobaracc.com



庄原カントリークラブ

リヨービ開発株式会社 〒727-0014 広島県庄原市板橋町600 Tel.(0824)72-1122(代) Fax.(0824)72-3419 <http://www.shobaracc.com/>



それは、コース設計、施工からクラブ運営まで多岐にわたるのだが、名コースたる所以、そのこだわりとクラブの魅力について紹介したい。



庄原カントリークラブの 魅力に迫る!

月刊グッドゴルフ掲載『GoodCorse
庄原カントリークラブ特集』より

庄原CCは2025年に開場50周年を迎えた。メンバーシップコースとして、上質なサービスと堅実な運営に定評があり「良質なコンディショニングの中で快適にプレーができる格調高いゴルフ場」を謳い、会員重視の運営をおこなっている。

特に親会社が開催するコンペには全国各地から名コースをよく知るゴルフアークが多数参集する。来場したすべての方に、ゴルフライフのページを刻むにふさわしいラウンドとサービスを提供する。庄原CCに求められた命題だ。

キャディーマスターがお客様からかけられた言葉として嬉しいエピソードを紹介してくれた。「いいゴルフ場だとは聞いて来たが、ここまでハイレベルなコースとは思わなかった。御見せしました。」とのこと。

「攻め甲斐のあるコースには理由がある」 設計者 鈴木正二について

庄原CCの魅力として「高い戦略性」「秀逸なコース設計」「良質なコースコンディショニング」がある。詳細を語るうえで、設計家『鈴木正二』と施工会社『安達建設』に触れないわけにはいかない。

鈴木正二氏はゴルフ場施工のバイオニア安達建設の造成・設計部長を歴任された方で開場当時、国内トップクラスの二人



コース詳細図

と評されたコース設計家だ。

日本のコース設計界の巨匠、三傑と称される井上誠氏、上田治氏、佐藤儀二氏とも関係が深く、一緒に多くのゴルフ場開発、設計の仕事に携わっている。各氏が設計した図面を大地に造形する極めて重要な役割を担っていた。

特に、上田治氏の愛弟子として継承したコース設計理論は遺憾なく発揮されており、鈴木氏が設計、監修に関わったコースは極めて高く評価されている。

上田治氏の傑作、古賀GC（福岡）では鈴木正二氏にコース改修の設計・監修を依頼し以降、日本オープンを3回開催している。ABCゴルフ倶楽部（兵庫）はトーナメントで有名だ。後にトヨタが系列ゴルフ場（ベルフラーウCC、岐阜）を造る際、鈴木氏を設計者に起用したことからその実力が伺い知れる。

安達建設の施工が 意味すること

次に、安達建設。同社はゴルフ場設計・施工のバイオニアで、現在、名門コースと称されるものの多くが同社の手掛けたゴルフ場という。永年にわたる経験により培われたノウハウは高く評価されており、世界のベスト100に選定された廣野ゴルフ倶楽部、川奈ホテルゴルフコース、鳴尾ゴルフ倶楽部、東京ゴルフ倶楽部も同社の施工。一度はプレーをしてみたいゴルフアーク憧れの名コースの多くを『安達』が手掛けている。



開場時の資料展

【安達建設が手掛けた名コース】
名古屋ゴルフ倶楽部、茨木カントリー倶楽部、鳴尾ゴルフ倶楽部、軽井沢ゴルフ倶楽部、廣野ゴルフ倶楽部、川奈ゴルフコース、小金井カントリー倶楽部、東京ゴルフ倶楽部、広島カントリー倶楽部、広島ゴルフ倶楽部、松永カントリー倶楽部（安達建設HPより抜粋）

「時代を越えて通用する 名コースへ」

ゴルフ場開発の話が立ち上がった当時、何カ所か候補地があったようだが、ゴルフ場を造るに相応しい理想の地形として庄原の地が選定されている。

庄原CCは各ホール、部分たりとも妥協のない、雄大で戦略性に富むチャンピオンコースだ。コース全体のレイアウト、ホール毎のデザインやアンジュレーション、絶妙なバンカーの配置やグリーン形状、視覚的な効果に至るまで、こだわりの設計と造形が施されている。

庄原CCは一流の布陣による本格派ゴルフコースとして誕生し今に至っているのだ。

戦前にできた日本を代表する名門コースは今でもアクセスが良いが当時、熱きゴルフアークは移動の労を惜しまず名コースに通った。

庄原まで、ほんの少し足を延ばせば全国レベルの本格派チャンピオンコースを堪能できる。

訪問を躊躇してはもったいない。



知っておきたい

コース評価の7つの基準

ランクインしている。評価項目、選者の視点を知ることでゴルフ場の景色も違って見える。



庄原CCは、丸山茂樹プロが監修する書籍『プレミアムゴルフ倶楽部ベスト72』に2021年から連続で選出されている。

上質なゴルフ旅行にお薦めのコースとして全国から選ばれたもので評価基準はコース設計、コースコンディショニング、おもてなしの心、施設・設備等。

太平洋クラブ御殿場コース、フエックスカントリークラブ等、ツアー競技で有名なコースと共に紹介されている。

アメリカのゴルフメディアでも、世界のゴルフ場を客観的な基準でランキングしており世界ベスト100コースには日本のコースも

① Shot Values (ショットバリュー)

プレーヤーが技量に合わせてプレーする際、リスクとチャレンジへの報酬がバランスよく考慮されているか。正確性、飛距離、デリケートなコントロール、ナイスショットとミスショットの差がスコアに反映されるような設計されているか。

庄原CCの1番ホールのティーショット。フェアウェイ左サイドは平坦でセカンドショットはグリーンを狙いやすい。ただ、OBラインが近くリスクへの挑戦が必要。一方、右サイドは安全だがセカンド地点は前上がりのライでバンカー越えのショットが要求される。このホールをどう乗り切るか、スタートからショットバリューの見極めを問われる。

② Resistance To Scoring (スコアへの抵抗度、難易度)

バックティーからスクラッチプレイヤーがプレーをした時に、フェアでありながらどれほどの難しさがあるか。

③ Design Balance (デザイン)

距離、地形、ハザードの位置、グリーンの形状、アンジュレーションが変化豊かにコースを造りあげているか。

庄原CCは160万㎡の雄大な土地を生かした名匠、鈴木正三氏設計の本格派コース。各ホールが変化に富み、レイアウト、コースやグリーンの形状、ハザードの絶妙な配置は高い完成度を誇っている。つひとつのホールに設計者の想いが込められており、コース設計の系譜を遡ると上田治氏、C・H・アリソン、H・コルトと、そのDNAは世界の名コースに通じるものがある。

④ Memorability (想起性／印象深さ)

各ホールに個性があり、1番から18番まで一貫した流れがあるか。プレー後、明確に各ホールが印象的であり、単調さはないか。

庄原CCは1番ホールから18番ホールまで、序章からクライマックスを経て終章に繋がる一貫した流れがある。

プレーヤーに求める技量やメンタルコントロールも変化に富んでおり、戦略性と完成度の高さは秀逸だ。特に7番、8番は容易に攻略を許さない庄原のアーメンコーナーともいえる印象深いホールとなっている。

⑤ Esthetics (景観、美観)

景観の美しさは評価できるか、美観がゴルフをより楽しいものにするかが考慮されているか。

庄原CCは景観、美観を追求しており、自然の中でゴルフを楽しむことに徹底した

こだわりがある。コースからは人工物が極力見えないようレイアウトや植栽にも工夫がある。11番ロング、12番ミドル、17番ショートは、中国山地を借景として設計された名物ホールで、雄大な景観を楽しませてくれる。また、視覚のみならず小鳥のさえずりやキツツキのドラミング、自然の静寂が楽しめるようなハウス内にBGM(人工音)を流していないのもこだわりの運営だ。

⑥ Conditioning (コースコンディショニング)

プレーした日のティグラウンド、フェアウェイ、グリーンなどのコースの状態は評価できるか。

貴重な一日を過ごすゴルフではコースコンディショニングはラウンドの価値を大きく左右する。庄原CCはコース管理を最重要課題ととらえ、深い知識と技術で高いクオリティを維持している。名コースのコンディショニングを知る者からも高く評価されている。

⑦ Tradition / Ambience (伝統性／雰囲気)

●どのような歴史がつけられたか。
●コース設計はどのようにゴルフに寄与したか。
●ゴルフの起源、真髄を思い起こさせる雰囲気があるか。

庄原CCは、開場時からゴルフの理念や伝統を重んじた運営を旨としている。コース設計においても、世界基準の名コースを手がけた安達建設を起用しており、ターゲットゲームの起源を尊重し、ワングリーンを採用している。

評価基準を知ることによって通い慣れたコースの違った一面、奥深さが再認識できる。



充実した設備と運営!

庄原CCでのプレーや入会を検討されている方に、魅力あるクラブの運営や制度、数々のサービスについてご紹介したい。

ポイントその1 GPSナビ搭載 リモコン式カートで楽々プレー

乗用カートには最先端の「マーシャルアイ・プレミアム」を搭載した。コースレイアウトやピンまでの距離、プレーに必要な情報がフルスペックで表示される。コースを初めてラウンドする方や正確な距離を打ち分けたいゴルファーには強い味方となる。コンペではリーダーズボード機能で順位が分かり、楽しさ倍増と好評だ。



ポイントその2 大浴場と本格サウナで リフレッシュ!



庄原CCの浴場は、男女ともサウナ・水風呂が完備されており、常連客に人気がある。湯船で疲れを取り、サウナで汗を流す。水風呂も冷却チャイルド水温を調整する本格的なものだ。ラウンド後の火照った体を冷やすと疲労回復の効果も高まる。庄原CCに出向く際は時間に余裕を持って、しっかりとリフレッシュされることをお勧めする。

ポイントその3 女性ゴルファーに 優しいゴルフ場

庄原CCは、女性向け設備が充実している。女性用ロッカールームは60人の来場に対応でき、女性浴場やパウダールームも余裕のある広さでリラクゼーションできる。テーブル、チェアを備えた談話スペースも完備しており、親しい仲間同士、ゴルフ談義に花が咲く。女性が多数参加するコンペでも庄原CCなら受入れ体制は万全だ。



ポイントその4 バーチャルリアリティで コースを案内

庄原CCでは、ホームページに先進のVRコンテンツ「バーチャルツアー」を導入している。パソコンやスマートフォンから実際にコースにいるような臨場感ある4K高画質360度画像が見られる。ラウンドのイメージトレーニングや攻略ルートを確認、コンペの際のコース紹介に便利な機能だ。



ポイントその5 アクセスも便利、 「意外に近い!」

庄原CCは、中国自動車道の清風新都ICや中国やまなみ街道経由で福山、尾道方面から1時間強で到着する。渋滞がなく所要時間が計算できるのも安心だ。初めての来場者は「意外に近い!」との感想が多い。また、庄原CCは中国5県から参集しやすい位置にあり、一堂に会して開催される企業のコンペも多い。近隣に宿泊してゴルフを楽しむプランも好評。全自動運転の実用化で、朝刊を読んでいる間に庄原CCに到着、なんていう時代が来ればもっと身近になるだろう。



ポイントその6 多彩な特典で会員の クラブライフをサポート

庄原CCは、会員のメリットやステータスの向上にむけた取組みに積極的だ。数々の特典には会員のみならず家族が対象の制度も多く、家族ぐるみでクラブライフを楽しめるのも庄原CCの魅力だ。

庄原CCは、開場50周年入会促進キャンペーンを実施しており、会員権を取得する「預託金会員」と、若者・女性を対象の「身終身会員の2種類の入会制度により会員を募集している。(詳細はHP参照)

庄原CCは地域を代表する名門コース、松永カントリークラブ(福山市)、グリーンバースゴルフ倶楽部(三原市)、後楽ゴルフ倶楽部(岡山市)と親善協定を提携している。会員は趣の異なる名コースをメンバー料金で利用できる。

ゴルフ界の将来を担う新規ゴルファーの創出、育成を目的に、会員親族の若手ゴルファーを優遇する「ジュニア学生・U25優待制度」を導入している。

会員が家族とともに気軽にプレーができ、友人、知人を招待しやすいゴルフ場こそ本来のカントリークラブの姿だ。

先人の熱い心に想いを馳せ、時代を越えて通用する名コースを追求しようとする頑なな姿勢。これこそが伝えるべき「庄原カントリークラブの魅力」なのだ。

開場50周年を迎えた庄原CCは、次の半世紀も真の名コースを目指して挑み続けます。

